



カナダで活躍する日本人ジョッキー ～颯娃町別府出身の福元大輔さん～

福元大輔さんが馬に出会ったのは3歳のとき。幼少期から地元の草競馬に出場し優勝していました。中学卒業後、ジョッキーを目指しJRA競馬学校を受験するも不合格に。騎手への夢をあきらめず、17歳単身でカナダに渡った。現地の厩舎で修業し、19歳で念願の騎手免許を取得し、夢のジョッキーになりました。今年9月、カナダ版ダービーと呼ばれるクイーンズプレートで会心の走りで初優勝。10月のレースでも勝利、2冠を達成。



▲カナダのレースで2冠を達成した福元大輔さん

ユウ〜っと詰まった牛乳の魅力 ～牛乳消費拡大キャンペーンで学ぼう～

10月30日、かつめこども園の園児たちが市酪農振興会が主催する牛乳消費拡大キャンペーンに参加しました。この活動は子牛とのふれあいや搾乳、バター作りといった体験を通じ、身近な飲み物である牛乳の魅力について、広く知ってもらおうと毎年行われています。園児たちは「牛が大きくてびっくりした」、「乳搾りは難しかった」などと語り、楽しみながら牛乳について学ぶことができたようです。



▲聴診器で子牛の心臓の音を聞く園児たち

外国人実習生、日本文化を学ぶ ～知覧武家屋敷で日本文化体験～

9月27日、知覧武家屋敷で鹿児島県在住の外国人実習生が、着物を着て、武家屋敷庭園散策、茶道体験、日本語講座を受講しました。この研修会は九州アジア人財開発協同組合が主催し、市国際交流協会と市観光協会が共催しました。参加した実習生などはスマホでSNSを活用し、本国の両親や友人へ情報発信するなどして楽しんでいました。



▲着物を着て日本文化を学ぶ外国人実習生ら

知覧茶と景色を楽しめます ～番所鼻自然公園にておもてなし～

9月20日、南九州市観光協会が颯娃町番所鼻自然公園にて冷たい知覧茶で観光客へのおもてなしを行いました。今回の企画は、8月に知覧の藤棚公園で行った風鈴でのおもてなしに続く第2弾で、コロナ禍に訪れた観光客は海風を感じながらおもてなしを楽しんでいました。なお、11月29日には川辺の岩屋公園で第3弾を開催予定です。



▲知覧茶を飲みながら景色を楽しむ観光客ら

知 覧茶の魅力を広くPR！ ～インスタで知覧茶ライブ配信～

知覧茶の郷づくりプロジェクト委員会では、知覧茶の魅力を広くPRするため、Instagramを利用したLive配信を行いました。第1回目は大隣紗苗さんと大隣岳茶生産組合の方々の協力により茶畑からお茶の製造工程までを紹介する知覧茶の生産現場の生配信となりました。今後も市内の各地域からの知覧茶情報やお茶を使ったスイーツについてのLive配信などを実施していきます。



▲茶畑からライブ配信を行うプロジェクト委員会のメンバーら

お 茶とのふれあい事業 ～霜出小学校と知覧小学校の児童～

霜出小学校および知覧小学校でお茶とのふれあい事業が行われました。知覧町茶業青年の会会員からお茶のおいしい入れ方について、協力いただいた製茶工房ちらみと西垂水茶業の関係者によるお茶の手摘み、乗用型摘採機の試乗、茶工場での製茶工程について学びました。今回参加した児童たちは、この体験を活かして将来地域の特産品であるお茶を広く世界に発信してくれることでしょう。



▲摘採機の試乗や手摘みを体験した霜出小の児童

福 祉の世界へ第一歩 ～鳳凰高校での榎山学園による講演会～

10月13日、鳳凰高校総合福祉科にて社会福祉法人更生会榎山学園の講演会が行われました。同科では、例年この時期に福祉施設へ実習へ行きますが、今年は施設の職員による講話により理解を深めることとなり、南九州市からは榎山学園が講話をしました。顕娃中出身で同科2年生の森迫歩未さんは「これからの学習に役立てるよう頑張りたいです」と、将来へ向けて抱負を語りました。



▲榎山学園職員の講話を真剣に聞く学生

地 元食材の郷土料理で交流 ～学校給食で南北交流～

10月22・23日、今年で8回目となる北九州市との交流給食が行われました。南九州市では、北九州市産のたけのこを使った、北九州など福岡県の郷土料理である「筑前煮」と北九州市の郷土料理「いわしのぬか味噌炊き」からアレンジした「県産ぶりのぬか味噌ソースがらめ」を献立に取り入れ、学校給食を通じて南と北の九州の交流を深めました。



▲北九州市の味を楽しむ顕娃小6年生の児童

行 **政の苦情や相談の解決に尽力！** ～行政相談委員総務大臣表彰～

10月12日、行政相談員の齋藤耕太郎さんが、令和2年度行政相談委員総務大臣表彰を受賞しました。行政相談員は無償で住民と行政のパイプ役として活動し、行政についての苦情や相談の解決にご尽力いただいています。齋藤相談員は、平成13年から行政相談員を務めており、長年の功績が認められ表彰されました。当日は、ご夫妻で表彰式に臨まれ、武田良太総務大臣や宮路拓馬総務政務官からお祝いのビデオメッセージを受けられました。



▲表彰を受ける齋藤耕太郎さん（中央）と奥さま

感 **染症対策に活用してください** ～株式会社中金電設より寄付～

9月15日、㈱中金電設より南九州市へ100万円の寄付があり、市役所で贈呈式が行われました。㈱中金電設は南さつま市の本社を拠点とし、本市では知覧町に南九州営業所として支店を置いています。代表取締役の中金康一氏は、「新型コロナウイルスの影響で国体をはじめ、南九州市でも多くのイベントなどが中止されている。日頃からお世話になっているので何かできればと思った。感染症対策に活用していただきたい」と述べました。



▲市長から感謝状を受け取る中金代表取締役（左）

市 **長に4事業案を提案** ～地方創生プロジェクトチーム市長報告会～

10月8日、市役所で地方創生プロジェクトチーム市長報告会が行われました。この取り組みは、人口減少対策に特化した計画である南九州市創生総合戦略の新規事業を創出するため、市職員、市内金融機関、地域住民および民間事業者などで構成された4チームで6月からグループワークを重ねて事業案を検討してきました。提案された事業案は、来年度の国の地方創生推進交付金事業への申請を行う予定。



▲市長に事業提案を報告するプロジェクトチームのメンバーら

妊 **娠期から子育てまでを支援** ～子育て世代包括支援センター開所式～

10月1日、知覧保健センター内に新しい子育て支援施設が開所しました。センターでは専属の保健師が、母子手帳交付から出産後早期を中心に相談・支援計画の作成・関係機関との連絡調整などを行います。産後3週間ごろにおめでとうコールで育児の開始状況を伺い、家庭訪問などを行います。乳幼児健診を担当する地区担当保健師と一緒に、保護者に寄り添い安心して相談できるセンターを目指します。



▲子育て世代包括支援センター専属の保健師と地区担当保健師（前列）